

令和4年農作物作付(栽培)延べ面積及び耕地利用率

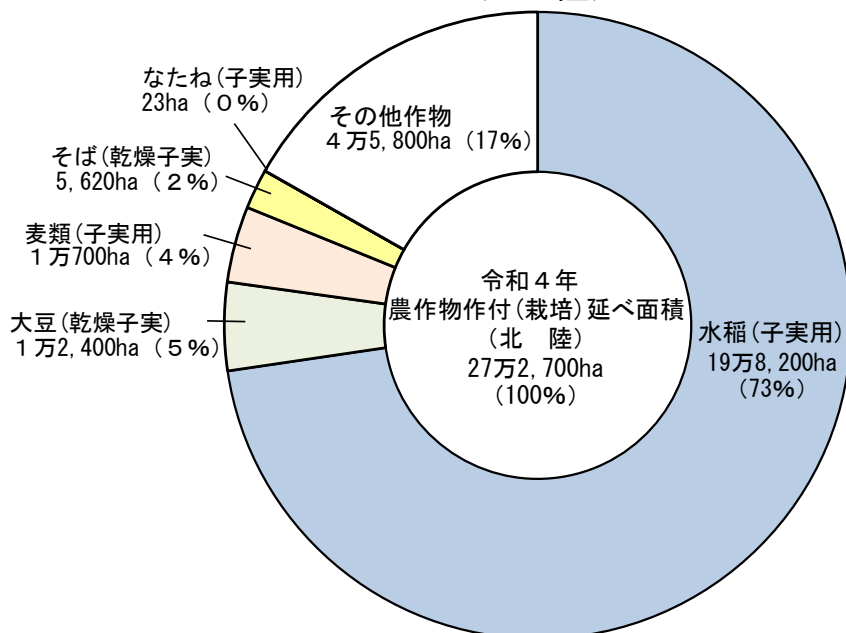
北陸の農作物作付(栽培)延べ面積は27万2,700ha。うち、水稻(子実用)作付面積は19万8,200haで73%を占める。

令和5年9月8日公表

1 農作物作付(栽培)延べ面積

北陸における令和4年の農作物作付(栽培)延べ面積は27万2,700haで、前年に比べ1,000ha減少した。

図 令和4年農作物作付(栽培)延べ面積 (北陸)



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない。

表1 令和4年農作物作付(栽培)延べ面積(北陸・県)

単位：ha

全国農業地域・県	作付(栽培)延べ面積		水稻(子実用)		麦類(子実用)		大豆(乾燥子実)		そば(乾燥子実)		なたね(子実用)		その他作物	
	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差	実数	対前年差
北陸	272,700	△1,000	198,200	△3,600	10,700	710	12,400	700	5,620	80	23	1	45,800	1,100
新潟	145,300	△700	116,000	△1,200	246	45	4,200	110	1,250	0	x	x	23,600	400
富山	52,000	△400	35,500	△800	3,560	200	4,510	260	547	3	13	△2	7,850	△40
石川	34,300	△100	23,100	△700	1,700	150	1,790	170	373	19	x	x	7,360	220
福井	41,100	100	23,500	△1,000	5,190	300	1,870	130	3,450	60	x	x	7,060	620

注：1 麦類(子実用)は、小麦、二条大麦、六条大麦及びはだか麦の4麦の合計面積である。
 2 その他作物は、陸稲、かんしょ、小豆、いんげん、らっかせい、野菜、果樹、茶、飼肥料作物、桑、花き、花木、種苗等である。
 3 子実用(乾燥子実)作付面積は、食用又は種子用を目的に生産されるものをいう。なお、食用を目的に未成熟で収穫される場合や子実生産以前に刈取りされたものは除く。
 4 統計数値については四捨五入しており、北陸値と内訳の計が一致しない場合がある。
 5 「X」は、生産者が2以下の場合には、個人又は法人その他の団体に関する調査結果の秘密保護の観点から、当該結果を「X」表示としている。
 なお、全体(計)からの差引きにより秘匿措置を講じた当該結果が推定できる場合には、本来秘匿措置を施す必要のない箇所についても「X」としている。

2 耕地利用率

北陸における令和4年の耕地利用率は89.2%で、前年同様となった。特に、福井県の耕地利用率は103.5%で、全国4位となっている。

福井県は、六条大麦の作付面積が全国1位となっており、収穫後にそば・大豆等を作付けしていることで、耕地利用率が高くなっている。

表2 令和4年耕地利用率と前年比較（田畑計）

全国農業 地域・県	耕地面積	耕地利用率			作付(栽培) 延べ面積
		実数	対前年差	全国順位	
	ha	%	ポイント		ha
全 国	4,325,000	91.3	△ 0.1	—	3,947,000
北 陸	305,700	89.2	0.0	—	272,700
新 潟	167,700	86.6	△ 0.2	24	145,300
富 山	57,900	89.8	△ 0.5	20	52,000
石 川	40,400	84.9	0.2	30	34,300
福 井	39,700	103.5	0.7	4	41,100

【問合せ先】

北陸農政局 統計部 生産流通消費統計課
(直通) 076-232-4895